

平成31年 第1回

区づくり推進横浜市会議員会議

会 議 資 料



中 区

区づくり推進横浜市会議員会議

目 次

議 題

平成 31 年度中区個性ある区づくり推進費予算案について……………P1

資 料

平成 31 年度中区個性ある区づくり推進費自主企画事業執行計画(案)……………P3

※ 改元が予定されている 2019 年5月以降の日付についても平成で記載しています。

平成31年度 中区個性ある区づくり推進費予算案について

1 31年度予算案の基本的な考え方

【予算編成の考え方】

中区運営方針においては、「誰もが安心と活力を実感するまち中区 ～住んでよし、働いてよし、訪れてよし～」を基本目標としています。また、基本目標をベースとして、「誰もが安全・安心でいきいきと輝けるまち」と「活力を生む地域の賑わいづくり」の実現に重点をおいて取り組んでいます。

31年度予算においても、目標達成に向けて次の4つの施策を掲げて編成し、しっかりと歩みを進めていきます。

- 【施策1】 地域の活力があふれるまちづくり
(「地域まちづくり」「地域活動」「スポーツ」等 関連事業)
- 【施策2】 子どもから高齢者まで共に支え合うまちづくり
(「子ども」「高齢者」「障害者」「健康」「多文化」等 関連事業)
- 【施策3】 安全・安心で健やかに暮らせるまちづくり
(「防災」「防犯」「環境美化」等 関連事業)
- 【施策4】 地域に寄り添い、ともに行動する区役所づくり
(「区民サービス向上」「広報」等 関連事業)

2 中区 個性ある区づくり推進費予算 区分別総括表

(単位:千円)

項目	31年度 A	30年度 B	増▲減 C = A - B	増減率 C / B
中区予算案	578,224 (572,075)	559,011 (549,838)	19,213 (22,237)	3.4% (4.0%)
自主企画事業費	100,794 (100,349)	106,121 (101,396)	▲ 5,327 (▲ 1,047)	▲5.0% (▲1.0%)
統合事務費	37,450 (37,250)	37,346 (37,236)	104 (14)	0.3% (0.0%)
統合事業費(注)	14,612 (13,721)	0 (-)	14,612 (13,721)	皆増 (皆増)
区庁舎・区民利用施設 管理費	425,368 (420,755)	415,544 (411,206)	9,824 (9,549)	2.4% (2.3%)

※上段は事業費、下段()内は、一般財源の額を記載しています。

(注) 30年度まで自主企画事業費に計上しておりました各区に共通する事業の一部を、31年度は統合事業費として別途計上します。

〈参考〉

1 温暖化対策プラス事業

区民利用施設照明LED化事業(1,620千円)

二酸化炭素の排出削減効果が見込めるため、中本牧コミュニティハウスの照明LED化を実施します。

2 区局連携促進事業

緊急時情報システム運用試行事業(669千円 連携局:総務局)

災害等に関する緊急情報を、電話を利用して、区から直接、防災・減災活動の核である、地域の防災組織の長(自治会町内会長等)及び即時避難勧告対象区域の世帯や要援護者施設等に対して発信します。双方向機能を活用したシステムの試行運用を引続き実施し、実務上の課題と事業効果を検証します。

3 自主企画事業費で取り組む主な事業(31年度取組のポイント)

【施策1】地域の活力があふれるまちづくり

事業名	31年度	30年度	差引
まちづくり推進事業【拡充】	3,974 (3,674)	3,424 (3,124)	550 (550)
中区での回遊性向上を目指し、関係部署と連携しながら、大岡川親水イベントなどまちの魅力再発見につながる取組を進めます。			本文ページ 3
地域連携推進事業	2,000 (2,000)	2,000 (2,000)	- (-)
本牧地区をモデルとして、地域の様々な背景をもった組織、団体、地域の人々が連携したプラットフォームづくりを推進し、地域主体による賑わい創出につなげていきます。			本文ページ 3
自治会町内会活動支援事業【拡充】	6,843 (6,843)	2,843 (2,843)	4,000 (4,000)
自治会町内会加入促進や、地域の安心・安全の取組、地域福祉の推進にも活用していくため、自治会町内会区域図の作成等、各地区の特性の把握に取り組みます。			本文ページ 4
商店街魅力アップ事業【拡充】	1,700 (1,700)	1,200 (1,200)	500 (500)
商店街活性化アプリを改修し、効果的に活用することで、集客につながるPRを進めます。			本文ページ 4
スポーツ・青少年事業【拡充】	4,667 (4,667)	7,202 (7,202)	▲2,535 (▲2,535)
大規模スポーツイベント機運醸成のための事業を実施するとともに、若年層の体力向上と健全育成のため、学校を中心とした新たにジュニアダンスステージを実施します。			本文ページ 5

【施策2】子どもから高齢者まで共に支え合うまちづくり

事業名	31年度	30年度	差引
中なかいいネ!中区地域福祉保健計画推進事業【拡充】	3,142 (3,142)	2,773 (2,773)	369 (369)
コンセプト策定等に係るコンサルティング委託やグループインタビューを行い、第4期計画策定に向けた準備を着実に進めます。			本文ページ 8
区民意識調査事業【新規】	2,800 (2,800)	- (-)	2,800 (2,800)
概ね3年ごとに実施する区民意識調査を活用し地域福祉保健計画等に係るニーズ把握を進めます。			本文ページ 8
障害児・者ネットワーク支援事業【拡充】	1,800 (1,800)	920 (920)	880 (880)
パラリンピアン等を講師に招いた講演会を実施し、障害及び障害者に対する区民理解の推進につなげていきます。			本文ページ 10
子ども食堂支援事業【新規】	300 (300)	- (-)	300 (300)
子ども食堂に関するより効果的な支援を行うための検討を進めます。			本文ページ 11
多文化交流事業【拡充】	7,404 (7,404)	5,109 (5,109)	2,295 (2,295)
国際交流ラウンジの運営を通じ、ボランティア人材を育成し、関係各所と連携して外国ルーツの若者の居場所づくり等を進めます。			本文ページ 12

【施策3】安全・安心で健やかに暮らせるまちづくり

事業名	31年度	30年度	差引
地域防災力向上事業【拡充】	8,218 (8,218)	6,732 (6,732)	1,486 (1,486)
幅広い世代、特に若年層及びその保護者世代への防災啓発につながるよう防災フェアを実施するとともに、地域防災拠点に初動対応に必要な物品等の充実を図ります。			本文ページ 13

【施策4】地域に寄り添い、ともに行動する区役所づくり

事業名	31年度	30年度	差引
利用しやすい区役所づくり事業	12,394 (12,394)	19,017 (19,017)	▲6,623 (▲6,623)
公益用地活用メリットシステム予算(約6,400万円)をあわせて活用し、区庁舎改修を進めます。			本文ページ 17

※単位：千円、下段（）内は一般財源

平成31年度中区個性ある区づくり推進費自主企画事業執行計画(案)

1 地域の活力があふれるまちづくり

事業名		事業内容
1. まちづくり推進事業		<p>中区は、住宅環境をはじめ、商業、港、観光、文化・芸術、国際性などの多様な魅力がある横浜市の中心です。安心して生活し、働き、訪れたい魅力の中区の実現を目指してまちづくりを進めています。</p> <p>区民や団体が自主的に行うまちづくり活動に対して、迅速で細やかな対応や支援を行います。また、31年度は地域資源を活かし、関内・関外エリアの回遊性の向上を目指した取組を進めます。</p> <p>(1) まちづくり対応事業 (3,140千円) 【拡充】</p> <p>ア 横浜市都市計画マスタープラン中区プラン改定に向け、改定原案の公表・市民意見募集(6月)を行い、都市計画審議会に付議(32年1月)し、改定します。</p> <p>イ 区民が「まち」・「川」への愛着を深めるための取組を30年度に引き続き行います。31年度は、自治会町内会等と連携し、若年世代が地域活動を行うためのきっかけづくりとして、まちあるき、水上アクティビティ体験等を行います(大岡川及び周辺地域)。</p> <p>(2) 地域まちづくり活性化事業 (234千円)</p> <p>ア 地域でまちづくり活動を行う区民や団体に対し、ルール・プラン策定や策定後の運用等の支援を実施します。</p> <p>イ 地震火災対策として、感震ブレーカーの普及啓発など、関係局と連携し、燃えにくいまち・燃え広がらないまちの実現に向けた取組を進めます。</p> <p>(3) 魅力マップ活用事業 (600千円) 【拡充】</p> <p>「よこはま中区の歴史を碑もとく絵地図」第6版を増刷します。</p> <p>また、ラグビーワールドカップ2019TM等で訪れる外国人の来街者に向け、ホームページ専用の外国語版(英・中・韓国語)を作成し、掲載します。</p>
平成31年度	3,974千円	
平成30年度	3,424千円	
差 引	550千円	
所 管 課	区政推進課	

事業名		事業内容
2. 地域連携推進事業		<p>本牧エリアでは、情報発信型コミュニティカフェ「HOMMOKU BASE」のオープン(30年3月)や「本牧ハワイアンフェスタ」開催(30年9月)、「横浜マリンFM」の開局(31年春)など、地域が主体となった取組が広がっています。</p> <p>このような機運を地域活性化のチャンスととらえ、地域の様々な背景をもった組織・団体・地域の人々が連携し、本牧全体で活性化に向けた取組が行える環境(プラットフォーム)づくりを支援します。</p> <p>(1) プラットフォーム設立に向けた基礎調査</p> <p>プラットフォーム設立に向け、30年度に引き続きキーパーソンの発掘やプラットフォーム参画への動機づけを行うためのヒアリング調査を実施するとともに、地域で行われている行事等を調査し基礎資料を作成します。</p> <p>また、30年度からの調査結果を総括し、プラットフォームのあり方を検討します。</p> <p>(2) 地域活動支援</p> <p>将来のプラットフォームにつなげていくために、既に本牧エリアで地域活動を行っている団体等の活動支援を行います。</p> <p>(3) 地域の担い手育成</p> <p>30年度から引き続き、区民利用施設やコミュニティカフェなどの協力を得ながら本牧をテーマとした講座を実施し、本牧で活動できる人材を育成します。</p>
平成31年度	2,000千円	
平成30年度	2,000千円	
差 引	0千円	
所 管 課	地域振興課	

事業名		事業内容
3. 自治会町内会活動支援事業		<p>市民と協働して活力あるまちづくりを進めるため、地域コミュニティの中核である自治会町内会との連携と協力関係を深めます。また、18区中17位となっている加入率（30年4月1日現在63.4%）の維持・向上を目指すとともに、暮らしやすいまちづくりに取り組む自治会町内会の活動を支援します。</p> <p>(1) 自治会町内会加入促進（338千円） 自治会町内会が配布する加入促進チラシの作成支援、転入者への加入申込ハガキの配布等、加入促進に取り組みます。また、新規建築マンション・未加入マンションの管理組合に働きかけるなど、新たな自治会町内会設立・加入への動きを支援します。</p> <p>(2) 自治会町内会区域図及び地区情報カルテの作成（4,000千円）【新規】 自治会町内会区域図及び地区情報カルテを作成します。地域ごとの状況把握を行うことで、自治会町内会加入促進や、地域の安心・安全の取組、地域福祉の推進にも活用していきます。</p> <p>(3) 掲示板整備補助事業（1,600千円） 地域住民の福祉の向上、連帯の促進、災害情報提供を目的とし、自治会町内会が行う掲示板の整備について、その経費の一部を補助します。</p> <p>(4) 自治会町内会長感謝会（860千円） 市政及び区政に多大なご協力をいただいていると同時に、地域社会のリーダーとして活動する自治会町内会長に感謝の意を表すため、感謝会を開催します。また、永年勤続の会長に対し、市長表彰の報告及び区長表彰を行います。</p> <p>(5) 自治会町内会活動支援（45千円） 自治会町内会実務担当者向け研修会の開催、自治会町内会と行政との連絡調整（区連会定例会運営等）及び補助金交付事務（補助制度の説明、申請方法等）等を通じ、自治会町内会の活動を支援します。</p>
平成31年度	6,843千円	
平成30年度	2,843千円	
差 引	4,000千円	
所 管 課	地域振興課	

事業名		事業内容
4. 商店街魅力アップ事業		<p>地域社会の発展に貢献してきた中区の商店街が、さらに魅力を増し賑わうことを目指すとともに、商店街の課題を地域の課題としてとらえ、商店街活性化に向けた支援を行います。</p> <p>(1) 商店街広報活動事業（600千円） ア 商店街紹介ホームページの更新 中区ホームページに設置した商店街を紹介するページについて、適宜更新し、内容の充実を図ります。 イ 中区商店街紹介映像の充実 区内にある商店街の魅力を紹介する映像を作成して、区役所待合スペース、YouTube 等を活用したPRを行うことで、商店街の魅力を発信します。 ウ 商店街連携モデル事業 「商店街と子ども」をキーワードにその地域で成長していく子どもたちが街の商店街に愛着を持つような仕組みをつくるため、区・学校・地域が連携した「小学校の商店街お仕事体験」を実施します。</p> <p>(2) 商店街活性化クーポンアプリの改修等（500千円）【新規】 29年度事業で開発した商店街活性化クーポンアプリ（スマートフォン専用アプリ）を、個々の商店街が集客イベントなどで、広く活用できるよう改修します。</p> <p>(3) ハローよこはまへの商店街ブース出店（600千円） ハローよこはまの会場に商店街ブースを出店し、商店街の魅力を広く区民や来場者にPRします。</p> <p><参考>（経済局区配付予算） ・商店街活性化イベント補助金：商店街等の活性化イベントに対して、1団体25万円を上限に補助を行います。</p>
平成31年度	1,700千円	
平成30年度	1,200千円	
差 引	500千円	
所 管 課	地域振興課	

事業名		事業内容
5. スポーツ・青少年事業		<p>地域のスポーツ振興や青少年の健全育成、また区民の健康づくりに寄与するため、スポーツ推進連絡協議会や青少年指導員協議会等の関連団体と連携して事業展開していきます。また、ラグビーワールドカップ2019™や東京2020オリンピック・パラリンピックの機運醸成に取り組みます。</p> <p>(1) 区民スポーツ促進事業 (2,220千円)</p> <p>ア 区体育協会活動支援 スポーツの区民大会開催や情報提供等</p> <p>イ 健康づくり推進事業 ・ラジオ体操普及事業の実施 (地域指導者講習会、指導者派遣、資格取得促進【新規】) ・ランニングクリニックの実施 (12月・32年1月)</p> <p>ウ 大規模スポーツイベントを契機とした関連事業【新規】 ・ラグビーワールドカップ：小学生ラグビー教室の開催 ・東京2020大会：大会に関連したゲストを招いた講演会等の実施</p> <p>(2) 青少年育成事業 (822千円)</p> <p>ア 地域青少年育成団体支援事業 地域で青少年育成に関する取組を行う団体に、事業費を補助</p> <p>イ 青少年の交流促進 なかくっ子クルーズ (6月)、小学生フットサル大会 (32年3月)</p> <p>(3) ウォークラリー推進事業 (445千円) 街並再発見と健康づくりを目的に地域団体 (青少年指導員・スポーツ推進委員) が主体となり開催 (5月12日)</p> <p>(4) 中区ジュニアダンスステージ事業 (1,180千円) 【新規】 学校等を中心とする日頃の仲間と共に目標に向かって努力し、楽しみながら体力向上と豊かな感性育成に寄与する、オールジャンルのダンス大会を実施します。</p> <p>※スポーツ推進委員支援事業経費 (2,325千円) 及び、青少年指導員事業経費 (1,360千円) について、31年度は別途、統合事業費に計上しています。</p>
平成31年度	4,667千円	
平成30年度	7,202千円	
差 引	△2,535千円	
所 管 課	地域振興課	

事業名		事業内容
6. 区民活動支援事業		<p>地域課題への取組や文化振興を図ることを目的として、市民活動・生涯学習・文化活動等を支援します。街の先生の登録など地域で活動する人材の発掘及び育成を促進します。また、地域団体や民間事業者等により構成された「中区読書活動推進連絡会」を中心に、中区全体で読書活動を推進します。</p> <p>(1) 区民活動支援事業 (区民活動センター) (1,733千円)</p> <p>ア 区民利用施設・活動団体と連携した人材育成・市民活動支援事業 なか区民活動センター祭り、登録団体との連携講座、多文化共生ボランティア活用事業 (外国人向け工場見学)、中区民利用施設スタンプラリー、街の先生ガイド発行</p> <p>イ 情報提供・発信事業 情報誌の発行 (隔月発行) 区民利用施設のチラシを一括発送する広報支援 (月2回)</p> <p>(2) 区民活動スタートアップ支援事業 (150千円) 自立的な活動支援のため、活動初期の団体の事業に対し補助金交付</p> <p>(3) 生涯学習事業 (220千円) 地域課題解決のため、地域で活躍する人材の発掘・育成</p> <p>(4) 文化活動支援事業 (130千円) 特別協力の3事業実施のほか、共催・後援事業の支援</p> <p>(5) 読書活動推進事業 (267千円)</p> <p>ア 読書関連施設の連携 読書活動推進連絡会 (年3回) 及び「なか区ブックフェスタ」(10~11月)の開催</p> <p>イ 読書啓発イベントの開催 ハローよこはまへの出展 (10月) 関係団体との連携等によるイベントの開催 (10~11月)</p>
平成31年度	2,500千円	
平成30年度	2,442千円	
差 引	58千円	
所 管 課	地域振興課	

事業名		事業内容
7. 開港記念会館事業		<p>横浜市開港記念会館は、中区公会堂として貸館業務を行うとともに、横浜三塔の日イベント開催及び多言語リーフレットの作成・配布等により建物の魅力を市内外にPRし、利用者及び見学者の増加に向けて取り組んでいきます。</p> <p>(1) 三塔の日イベント開催 (1,000千円) 横浜三塔の魅力を発信し中区の活性化を目指して、開港記念会館ジャック、横浜税関(クイーン)、神奈川県庁(キング)で連携し、コンサート、講演会、ワークショップ等を開催します。 (32年3月8日(日)予定)</p> <p>(2) 見学者向けリーフレットの作成 (300千円) 施設見学者向けに多言語(日本語、英語、中国語、韓国語)のリーフレットを改訂し、配布します。</p> <p>(3) 開港記念会館の運営等 (460千円) 開港記念会館の運営に係る庁内備品費ほか。</p> <p><参考> (市民局予算) ・開港記念会館保存活用検討事業 (30,000千円) 本市の貴重な文化資源であり観光資源でもある開港記念会館を適切に保存し、施設の魅力向上を図るため、保存改修工事の基本設計を実施します。</p>
平成31年度	1,760千円	
平成30年度	1,780千円	
差 引	△20千円	
所 管 課	地域振興課	

事業名		事業内容
8. ハローよこはま 2019		<p>「子どもや青少年の創造性育成」「さまざまな世代による交流」「国際都市横浜としての多文化共生」「スポーツや文化活動の振興」及び「区民団体等の活動発表機会の充実」を目的として、中区民祭り「ハローよこはま」を開催します。</p> <p>開催にあたっては、区内在住者・在勤者・在学者が広く自主的に参加できる、区民主体のイベントとすることで、区民同士の新たなつながりに寄与します。また、区内外の企業とも連携し、開催を通して中区の魅力や活力を広く発信することで、区外からの来街者も楽しめる、賑わいあるイベントとします。</p> <p>(1) 開催日・会場 ア 日程：10月13日(日) (予定) イ 会場：横浜公園・日本大通り・象の鼻パーク</p> <p>(2) 実施内容(予定) ア 子ども・地球環境・福祉・防災等をテーマに、区民団体及び企業等によるブース展開(約130店) イ ステージでの区民団体等による活動発表(約30団体) ウ 横浜音祭り2019、ラグビーワールドカップ2019TM、東京2020オリンピック・パラリンピック等、市施策との連携 エ 来場者へのプレゼント企画(ビジターカード、抽選会等) オ 来場者アンケートの実施</p> <p>※ 保健・衛生・医療に関するテーマによる「元気フェスタ21」を同時開催予定</p>
平成31年度	2,925千円	
平成30年度	2,925千円	
差 引	0千円	
所 管 課	地域振興課	

事業名		事業内容
9. 都市間交流事業		<p>国内外の他都市と官民一体となって交流を進め、中区の魅力を発信することで、横浜のシティプロモーションの推進、災害時の相互支援、地域経済の活性化及び他都市との比較による中区の魅力再発見・ふるさと意識の醸成につなげます。</p> <p>(1) 仁川広域市中区(240千円)：友好交流協定(22年3月締結) 本市と仁川広域市とのパートナー都市協定締結を契機に、区同士の友好交流協定を締結。引き続き協定に基づき事業を推進します。</p> <p>(2) 岩手県釜石市(150千円)：友好交流協定(26年3月締結) 当区職員有志が釜石市の復興支援を行う「横浜支援隊」の活動を契機に、友好交流協定を締結。引き続き状況に応じた支援を実施します。</p> <p>(3) 埼玉県飯能市(845千円)：友好交流協定(26年3月締結) 鉄道5社相互直通(25年3月)を契機に協定締結。両市の鉄道会社・商工会議所を含めた6団体からなる友好交流協議会を設置し、イベント交流事業(ハローよこはま(10月)、飯能まつり(11月)等)での相互PR・誘客に取り組みます。また、協議会設置5周年を迎えることから中区民を飯能市へお連れする周年イベントを実施します(11月)。</p> <p>(4) 群馬県嬲恋村(275千円)：友好交流協定(28年2月締結) 嬲恋村出身で横浜開港期に活躍した中居屋重兵衛氏の顕彰行事を契機に、相互の更なる友好関係の発展を目指し、友好交流協定を締結。つまごい祭り(7月)、ハローよこはま(10月)等を活用した相互広報に取り組みます。</p>
平成31年度	1,510千円	
平成30年度	1,455千円	
差 引	55千円	
所 管 課	総務課 区政推進課 地域振興課	

2 子どもから高齢者まで共に支え合うまちづくり

事業名		事業内容
1. 中なかいいネ！ 中区地域福祉保健 計画推進事業		<p>自分たちが暮らすまちを、それぞれの地域の個性や魅力が生きる、誰もがいつまでも安心して暮らせるまちにするために、様々な主体が協働して中区地域福祉保健計画「中なかいいネ！」を推進します。</p> <p>(1) 第4期計画(33年度から38年度)の策定(1,200千円)【新規】 3期までの計画の進捗状況及び課題を踏まえ、計画策定の専門家と共に4期計画の方向性を定め、計画骨子・コンセプトを固めます。 また、地域活動者の意見を聴取し計画策定にいかすため、グループインタビューや座談会を実施します。実施にあたっては、公正・客観的な視点で意見聴取を行うため、専門家に実施方法の検討や運営等を委託します。</p> <p>(2) 第3期計画の推進(952千円)【拡充】 計画の更なる推進を図るため、課題対応策や区計画推進会議等の運営について学識者の助言を得ます。また、区、区社会福祉協議会、地域ケアプラザ職員で構成する地域支援チームに対する研修を行い、地域との協働を進めることができるようチーム力の向上を図ります。</p> <p>(3) 地域福祉保健計画の周知(940千円) 中なかいいネ！発表会の開催や中なかいいネ！通信の発行を通じて計画の更なる周知を行い、地域の担い手のモチベーションの維持・向上や、潜在的な地域の担い手の発掘につなげます。</p> <p>(4) 地域ケアプラザでの多文化交流の取組(50千円) 地域に身近な施設である地域ケアプラザで地域の日本人と外国人との交流を図る取組を行い、誰もが住みやすい地域づくりを進めます。 また、地域ケアプラザの機能や役割の周知の機会とします。</p> <p><参考>(健康福祉局区配付予算)4期計画の策定 ※センターからのお知らせ経費について、31年度は別途、統合事業費に307千円を計上しています。</p>
平成31年度	3,142千円	
平成30年度	2,773千円	
差 引	369千円	
所 管 課	福祉保健課	

		事業内容
2. 区民意識調査事業 【新規事業】		<p>日常生活を意識と行動の両面から捉え、区民の意識やライフスタイルを明らかにし、施策・事業の企画立案の基礎資料とすること等を目的に、広く区民の声を聴くことができる区民意識調査を行っています(前回:27年度)。 31年度は、第4期中区地域福祉保健計画策定、中区多文化共生アクションプランの改定に向け、地域福祉、多文化共生を中心に、紹介をしながら施策・事業に結び付くような設問を設けます。</p> <p>(1) 調査項目数 50問程度</p> <p>(2) 調査対象 中区在住の18歳以上の区民4,000人 (日本国籍3,500人、外国籍500人) ※英語版・中国版を作成・同封</p> <p>(3) スケジュール(予定) 5月 調査票発送 6月 調査票回収 8月 単純集計結果 10月 最終報告書</p> <p>≪参考≫27年度区民意識調査概要 1 調査対象 中区在住の20歳以上の区民4,000人(うち外国人408人) 2 抽出方法 住民基本台帳から無作為抽出 3 調査方法 郵送による配付・回収 4 言語 日本語(ルビ無し、ルビ有り)、英語、中国語(簡体字) 5 有効回収数 1,507件(うち外国人からの回答88件) 6 回収率 37.7%(外国人からの回収率21.5%)</p>
平成31年度	2,800千円	
平成30年度	0千円	
差 引	2,800千円	
所 管 課	福祉保健課 区政推進課	

事業名		事業内容
3. 健康アシスト事業		<p>運動や栄養等の健康に関する啓発を実施し、地域等と協働でウォーキング等の区民の健康づくり活動の支援や環境づくりを展開します。</p> <p>(1) 健康ナビゲーション事業 (1,137千円) 健康測定(体組成等)や食生活指導等を実施し、生活習慣を振り返り、生活習慣病予防の大切さや効果を認識するきっかけを作ります。 ア 4か月児健康診査会場 イ 地域の会場やグループへの出前講座等 ウ 健康づくりのイベント エ 保健活動推進員向け測定機器取扱研修 オ 可搬・印刷機能付き高精度体組成計の新規導入【拡充】</p> <p>(2) てくてくウォーキング事業 (370千円) 地域へ出向き、地域と協働でウォーキング講座等を開催します。</p> <p>(3) 中区健康づくり月間事業(元気フェスタ21) (250千円) 医師会、歯科医師会、薬剤師会等の関係機関と連携し健康増進に向けた啓発活動を実施します。(ハローよこはまと同時開催)</p> <p>(4) けんしん啓発事業 (200千円) 【新規】 新たに保健活動推進員等の関係団体と連携し、がん検診や特定健診の受診啓発を行います。</p> <p>(5) 妊娠糖尿病対策事業 (278千円) 【新規】 18区に先駆け妊娠糖尿病の罹患者に対し健康教育を実施します。</p> <p>(6) 食育推進事業 (380千円) ア 食生活等改善推進員会やJ A横浜等の関係団体や飲食店と連携し、乳幼児、学齢期、高齢者等を対象に年代別の個別食事相談や講座、イベントを開催します。 イ 食育の関係者向けの研修を開催するとともに、ネットワークを構築します。</p>
平成31年度	2,615千円	
平成30年度	2,439千円	
差 引	176千円	
所 管 課	福祉保健課	

事業名		事業内容
4. 地域包括ケアシステム推進事業		<p>30年3月作成の「横浜型地域包括ケアシステムの構築に向けた中区行動指針」に基づき、高齢者が住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができるよう、高齢者の地域交流促進、地域での介護予防活動推進や認知症にやさしい地域づくりに取り組み、支え合い助け合うまちづくりを進めます。</p> <p>(1) 高齢者の地域交流促進 (1,040千円) 老人クラブの活動充実や加入促進に向け、老人クラブの各種行事を支援する他、チラシやグッズの作成・配布を通じ、老人クラブへの関心を高めます。また、銭湯を会場とした寄席等のイベントを実施し、公衆浴場が地域の交流・介護予防活動の場となるよう支援します。 9月の敬老月間に区内特別養護老人ホームを訪問し祝品を贈ります。</p> <p>(2) 介護予防事業 (220千円) 30年度に作成した「中区版コグニサイズDVD」を活用し、脳トレリーダー等が地域において介護予防講座を実施した後、受講者が自らコグニサイズを実践できるようリーフレットや啓発物品を配布しながら、普及啓発を進めます。</p> <p>(3) 認知症支援 (590千円) 認知症高齢者等の介護者を支援するため、臨床心理士による個別相談(18回・36人)を実施します。また、臨床心理士による地域包括支援センター職員向けの研修会を実施し、地域で介護者を効果的に支援できる体制を整備します。さらに、認知症にやさしい地域づくりのため、認知症サポーター企業等認証を実施し、認証事業所の取組を区ホームページで紹介します。</p> <p><参考> (健康福祉局区配付予算) ・市民の意思決定支援事業 31年3月に作成する「もしものためのエンディングノート(中区版)」を活用し、講座等による普及啓発を実施。</p>
平成31年度	1,850千円	
平成30年度	1,997千円	
差 引	△147千円	
所 管 課	高齢・障害支援課	

事業名		事業内容
5. 障害児・者ネットワーク支援事業		<p>障害のある人が、その人らしく住み慣れた地域でいきいきと安心して暮らし続けられるよう区内の関係機関が連携して支援できる体制をつくります。</p> <p>(1) 関係機関連携推進事業 (540千円) 相談体制の充実、関係機関の連携強化、地域での支え合い体制づくりのため、多様な関係機関・当事者から構成される自立支援協議会を中心とした支援体制の充実を図ります。 ア 自立支援協議会の開催 (35回) イ 支援者のスキルアップや連携強化を目的とする研修会の開催 (8回：全体研修2回、部会研修6回)</p> <p>(2) ポレポレグッズ推進事業 (150千円) ポレポレグッズ (障害者作業所製品) の販売活動を推進し、障害者の生きがい創出と社会参加を支援します。 ア 中区障害者団体連絡会販路拡大委員会に事業運営費を補助 イ 販路拡大委員会、ナカナ・カフェ運営委員会開催支援 (各6回) ウ 区役所内定期販売会の支援 (12回)</p> <p>(3) 障害理解推進事業 (270千円) 「共生社会の実現」 (障害者差別解消法) に向け障害に対する理解を促進するため、地域社会に対する働きかけを積極的に行っていきます。 ア 啓発用ポスター、チラシ等の作成及び掲示・イベント等での配布 イ 関係機関協力のもと地域防災拠点訓練への当事者参加及び地域での出前講座の実施</p> <p>(4) パラリンピアン等による啓発講演会 (840千円) 【新規】 第一線で活躍するパラリンピアン等を講師とする講演会を開催し、障害者の社会参加の大切さや障害者スポーツの素晴らしさを区民に周知し、障害への理解推進や人権意識の向上につなげていきます。 区内作業所の製品紹介や啓発チラシの配布等を併せて行います。</p>
平成31年度	1,800千円	
平成30年度	920千円	
差 引	880千円	
所 管 課	高齢・障害支援課	

事業名		事業内容
6. みんなで子育て事業		<p>子育て中の方が、身近な地域で安心して子育てできるとともに、乳幼児期の子どもが豊かな体験や学びを積み重ねていけるよう、区内の保育所等の資源や特性を生かして、地域での子育て支援を推進します。学校、家庭、地域、行政が連携しながら、地域全体で子育てのできる環境づくりを支援します。</p> <p>(1) グランマ保育園 (2,553千円) 区内の保育所・横浜保育室等において、絵本貸出・施設開放・育児相談・一時保育など、在園児以外も含めたすべての乳幼児期の子どもが利用できる子育て支援の取組を行います。また、公立園では育児支援ルームの開放や「親子の保育体験」を行います。</p> <p>(2) 「おでかけスポットマップ」の充実 (1,169千円) 【拡充】 子ども連れで安心して楽しめるスポットをまとめた「おでかけスポットマップ」の子育て情報を充実させ、分かりやすく提供します。また、新たに中国語版のマップを発行します。</p> <p>(3) 外遊び応援事業 (100千円) 体験を通じて子どもとの遊び方や関わり方を知り、子育ての仲間作りができるよう、身近な公園での外遊びの機会を作ります。</p> <p>(4) 保護者向け保育所等情報提供 (339千円) 待機児童ゼロを目指して、中区独自の「中区保育所等のしおり」を作成し、区役所や保育所、ケアプラザ等で配布するとともに、開港記念会館で保育所等利用申請説明会を10月に開催し、利用申請の方法や各保育園の情報、様々な保育サービス、保育園での過ごし方等を紹介します。</p> <p><参考> (こども青少年局区配付予算) ・「はじめまして幼稚園～中区幼稚園説明会～」の実施 ・「中区保育園駅伝大会～チューリップ杯～」の開催</p> <p>※学校・家庭・地域連携事業経費について、31年度は別途、統合事業費に750千円を計上しています。</p>
平成31年度	4,161千円	
平成30年度	4,502千円	
差 引	△341千円	
所 管 課	こども家庭支援課	

事業名		事業内容
7. みんなでSTOP ザ虐待		<p>安心して子育てができるよう地域での見守り力づくりを推進します。また、保護者が相談しやすい環境を整えるとともに、育児力を高める場や仲間づくりの場を提供します。</p> <p>(1) 地域の見守り力アップ事業 (281千円) 児童虐待防止に関する地区別研修を継続実施するとともに、関係者向け研修を実施します。また、学校関係者と学び合う研修・事例検討会をスーパーバイザーを活用し実施します。</p> <p>(2) 赤ちゃん学級 (432千円) 初めての子育てを安心してスタートできるよう、第1子の養育者を対象に、身近な地域で仲間づくりや子育ての知識を学ぶことのできる教室を開催します。</p> <p>(3) 乳幼児健診の充実 (1,725千円) 乳幼児健診について、きょうだい児連れや外国籍の方が受診しやすい環境を整えます。また、未受診の家庭に対して家庭訪問等により情報提供を行います。</p> <p>(4) 乳幼児のいる養育者を対象とした育児教室等 (701千円) 支援が必要な乳幼児を持つ養育者が具体的な育児方法を学ぶことのできる教室や講座を開催します。</p> <p>(5) ひとり親家庭に対する相談支援の充実 (836千円) 区の状況を踏まえ、児童扶養手当現況届の受付に来庁する機会をとらえて、生活状況の聞き取りや各種手続の支援をきめ細やかに行います。</p> <p>(6) 学齢期家庭向け支援強化プログラム (998千円) 生活困窮や養育困難等の課題を抱える家庭の児童自身が生活をしていくためのスキルを身につけるきっかけとなるような体験会を実施します。</p>
平成31年度	4,973千円	
平成30年度	4,947千円	
差 引	26千円	
所 管 課	こども家庭支援課	

事業名		事業内容
8. 子ども食堂支援事業 【新規事業】		<p>地域のボランティアが子どもたちに対し、無料または安価で栄養のある食事や温かな団らんを提供する取組を行う、いわゆる「子ども食堂」が、継続して実施され、また活性化するように中区社会福祉協議会と連携し、地域の活動を支援します。</p> <p>(1) 子ども食堂ネットワーク 子ども食堂の活動者同士や地域、企業等の支援者をつないでいけるよう、30年12月に中区社会福祉協議会と共に設立した子ども食堂ネットワークの定例会を開催し、情報共有などを行い、持続可能な活動を支援します。また、この場を活用して活動の課題やニーズを把握し、行政ができる支援を検討します。</p> <p>(2) 子どもへの支援のための調査 子どもの生活実態やニーズなどを把握し、子ども食堂の活動者と情報を共有して今後の活動に生かしていくことを目的に、学校や学童など子どもと関わる機関・団体に対し、偏食や孤食、貧困等の困難を抱える子どもに関する調査を実施します。また、他区・他都市で好事例となっている団体の活動を調査し、運営の手法や心構えなど活動の継続に必要な情報を区内の活動者に提供します。</p> <p>(3) 研修会及び講演会の実施 子ども食堂の活動者などを対象に、衛生管理など活動者が必要としているテーマに関する研修会を実施します。また、潜在する担い手を発掘し、地域での取組を活性化するため、区民向けに子ども等地域の居場所づくりに関する講演会を開催します。</p>
平成31年度	300千円	
平成30年度	0千円	
差 引	300千円	
所 管 課	福祉保健課 こども家庭支援課 生活支援課	

事業名		事業内容
9. 多文化共生推進事業		<p>中区多文化共生推進アクションプラン（29年6月策定）を踏まえ、人口の1割強を占める外国人区民に対して広報紙やホームページ等により、わかりやすく行政・地域情報を伝えます。</p> <p>また、今後一層増えるであろう外国人住民の現状を踏まえ、区民意識調査及び外国人数基礎調査を踏まえてアクションプランを改定し、多様な人が住みやすいまちづくりを目指し、多文化共生を推進します。</p> <p>(1) 多言語広報紙発行事業（2,436千円） 「Naka Ward Town News」（英語）と「春夏秋冬」（中国語）を発行し、中区在住の外国籍住民に役立つ生活情報、行政情報等を掲載します。</p> <p>発行回数及び発行数：年4回（英語4,000部、中国語4,200部）</p> <p>(2) 多言語ホームページ運営事業（804千円） 英語、中国語、ハングル、やさしい日本語のホームページを月1回更新します。特集（広報よこはま・なか区版からの抜粋）、イベント情報、生活情報等を掲載し、タイムリーに情報提供をします。</p> <p>(3) アクションプラン事業（1,030千円） 28年度に実施した「中区外国人数基礎調査」を更新し、そのデータを基にアクションプランそのものを改定します。</p> <p>また、地域の日本人住民に向け、多文化共生意識醸成のための周知啓発事業も行います。一方で、外国人住民へ向けてはルールやマナーの啓発などにも取り組みます。</p> <p>《参考》市内プロジェクトを開催し、複数課で取り組むべき内容は部会で実施予定 (例) 出前講座部会：外国人住民に対して、防災・税・国保などの事業をアウトリーチ等により説明</p>
平成31年度	4,270千円	
平成30年度	8,295千円	
差 引	△4,025千円	
所 管 課	区政推進課	

事業名		事業内容
10. 多文化交流事業		<p>なか国際交流ラウンジを拠点に、外国人コミュニティや各団体・学校・地域との連携を図り、外国人の支援や多文化共生の地域づくりを進めます。</p> <p>(1) 日本語が全くできない外国人のための日本語教室事業（180千円） ア 日本語教室開催（前期30人：5～10月、後期30人：11～3月） イ 日本語教室受講者への119番通報体験・ごみ分別講習</p> <p>(2) 日本語ボランティア養成事業（320千円） （各ボランティア教室と連携） ア 日本語ボランティアの養成入門講座（全8回程度） ブラッシュアップ講座（全4回程度） イ ボランティア日本語教室連絡会の開催（5月、12月）</p> <p>(3) 多文化交流・多文化理解事業（790千円） ア 国際理解セミナーの開催（年2回） イ 多文化フェスタ開催（9月・開港記念会館） ウ 地域との連携（地域交流会や地域子供会事業支援等）</p> <p>(4) 多文化共生ボランティア活用事業（800千円） 自治会・町内会イベント等での通訳協力やチラシ翻訳等を実施</p> <p>(5) 情報収集・調査等（230千円）【拡充】 ホームページ運営、情報発信ツールとして中国SNS活用の検討</p> <p>(6) 地域連携・人材育成事業（2,415千円）【新規】 地域にヒアリング等を行い地域との連携を図ります。また、外国人ルーツの若者の生活面や学習面の相談・支援を行う居場所を作るとともに、ボランティア育成研修等を実施します。</p> <p>(7) 区が発信する簡易な案内等の翻訳の実施（415千円）【拡充】 各課が発信する情報の迅速な多言語化のため翻訳を実施</p> <p>(8) その他運営・事務費等（2,254千円）</p>
平成31年度	7,404千円	
平成30年度	5,109千円	
差 引	2,295千円	
所 管 課	地域振興課	

3 安全・安心で健やかに暮らせるまちづくり

事業名		事業内容
1. 地域防災力向上事業		<p>中区防災計画に基づき、地域防災力の向上を図っていきます。特に区民の自助・共助の意識の醸成や災害時の担い手育成を進めるため、防災アトラクションを中心に幅広い世代への啓発を実施します。また、地域防災拠点において、女性の視点等、多様なニーズに応えるとともに、誰もが円滑な拠点運営が出来るよう、初動対応セットの整備を進めます。併せて、本部機能充実のため、本部訓練の充実及びデジタル簡易無線等を活用した情報受伝達手段の充実を図っていきます。</p> <p>(1) 減災行動啓発事業 (2,210千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 地域及び企業等に対する減災支援 (防災まち歩き、減災説明会) イ 中区総合防災フェア 【拡充】 ウ 絆月間における防災・減災講演会 エ 地震・風水害対策等の啓発 <p>(2) 災害時の担い手育成事業 (510千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 防災出前教室(減災出前講座、防災体験教室) 拠点訓練との合同開催を進めるとともに、中学生の意見を取り入れた「中区地域防災拠点支援ガイド」を活用し、啓発を進めます。 イ 災害時に活用できる救助資機材取扱研修 <p>(3) 防災訓練・災害対策事業 (5,498千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 防災訓練 <ul style="list-style-type: none"> (ア) 外部講師を招いた本部運営訓練 【拡充】 (イ) 情報受伝達訓練の実施 (ウ) 帰宅困難者対策訓練の実施 イ 地域防災拠点の充実及び訓練の実施 地域防災拠点初動対応セットの作成 【新規】 ウ 本部体制の充実及び災害対策 デジタル簡易無線等を活用した情報伝達手段の多重化 【新規】
平成31年度	8,218千円	
平成30年度	6,732千円	
差 引	1,486千円	
所 管 課	総務課	

事業名		事業内容
2. 安全なまち・防犯対策推進事業		<p>「中区民暮らし安全推進協議会」を中心として、区民・事業者・警察・行政等の関係機関・団体が一体となって、高齢者を狙った振り込め詐欺の防止など、地域の実情に応じた防犯対策を推進します。</p> <p>(1) 中区民暮らし安全推進協議会支援事業 (232千円)</p> <p>中区民暮らし安全推進協議会の行う防犯対策事業を支援します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 総会の開催 (5月) イ 各種防犯キャンペーンの実施 (5月・10月) ウ ハローよこはまへの出店 (10月) エ 地域の安全・安心を考える集い「寄席de防犯」の開催 (32年2月) オ 4警察、4防犯協会・防犯協力会、関係機関との連絡調整 地域自主防犯活動委員会の開催 (年5回) <p>(2) 防犯情報配信事業</p> <p>各警察署から寄せられる犯罪情報等をEメール、ホームページ、広報よこはまなどを活用して広く区民に配信します。</p> <p>(3) 中区地域防犯活動支援事業 (1,705千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 実施内容：防犯活動費支援、防犯活動物品の貸与等 イ 対象団体：地区連合町内会、防犯活動団体、 市立小学校 (4月に新1年生へ防犯ブザー貸与) <p>(4) 防犯教室・講座(寄席de防犯など)事業 (427千円)</p> <p>地域や警察のほか社会貢献活動に積極的に取り組む企業等と連携し、子ども及び高齢者を対象にした防犯教室・講座を実施します。</p>
平成31年度	2,364千円	
平成30年度	2,364千円	
差 引	0千円	
所 管 課	地域振興課	

事業名		事業内容
3. 放置自転車対策・交通安全啓発事業		<p>区内で多発する自転車・バイクの放置及び高齢者や自転車の交通事故への対策として、各警察署や地域等の関係団体と連携し、キャンペーン等の啓発活動を通して自転車等の放置防止と交通事故防止に取り組みます。</p> <p>(1) 放置自転車対策事業 (150千円) ア 各駅自転車等放置防止推進協議会への支援 イ 各キャンペーンへの参加 ウ 放置自転車等が多い場所への対策検討及び実施協力 エ 放置自転車等移動要望への対応</p> <p>(2) 交通安全啓発事業 (1,428千円) ア 中区交通安全対策協議会への支援 イ 中区交通安全こどもポスターコンクールの開催及び入賞作品活用 (中区交通安全対策協議会共催) (7月～) ウ スクールゾーン対策の実施 (7月～) エ 各団体への補助金交付 (5～7月) オ 交通安全シルバーリーダー連絡協議会への支援 カ 交通安全教室・交通安全運動への協力 キ 高齢者及び自転車交通事故対策会議の開催 (年2～3回) ク 保護者向け自転車マナー啓発リーフレットを保育園に配布 (4月)</p>
平成31年度	1,578千円	<p><参考> (道路局配付予算) ・放置自転車等監視業務の実施 ・スケアードストリート (プロのスタントマンによる交通事故再現) 方式による交通安全教室の中学校での開催 (11月)</p>
平成30年度	1,578千円	
差 引	0千円	
所 管 課	地域振興課	

事業名		事業内容
4. ヨコハマ3R夢プラン推進事業		<p>ごみと資源の総量を21年度比で10%以上削減する「ヨコハマ3R夢プラン」の最終目標」達成に向け、区民・事業者・行政が一体となり、分別の徹底、リサイクルの推進のほか、生ごみの減量に効果的な「食品ロス (食べ残しや手つかず食品) の削減」及び「生ごみの水切り徹底」等の推進に重点的に取り組みます。</p> <p>(1) ヨコハマ3R夢プラン推進活動 (178千円) ア 区内各種イベント参加、店頭啓発、地区説明会、中区分別相談窓口 イ 庁舎内設置の資源回収BOX (小型家電、水銀含有製品等)、中区図書館及び区役所のリユース文庫による減量化・資源化 ウ 中区イベント用ごみ箱貸出事業：イベント等で出されるごみの分別徹底を促すためのごみ箱の無料貸与</p> <p>(2) 中区クリーンアップDAY (590千円) 区民・事業者・ボランティア団体等による清掃活動 (6月実施予定)</p> <p>(3) 美化運動支援事業 (368千円) まちの美化運動に取り組む自治会や団体等の活動を支援 (随時)</p> <p>(4) まちの美化対策事業 (700千円) ア 繁華街の美化対策である中華街クリーンアップ (9回) や学校と連携した放課後クリーンアップ等の実施 イ 区内で意見・要望が寄せられる不法投棄場所の改善対策 ウ 外国人向けの啓発 (チラシ作成、施設見学会、分別講座)</p> <p>(5) 3R夢推進大会 (350千円) まちの美化推進に貢献した個人・団体への区長感謝状の贈呈及び講演会の開催</p> <p>(6) 温暖化対策事業 (150千円) 打ち水キャンペーンや打ち水用具を無料貸与 (随時)</p> <p>※美化推進員経費については、31年度は別途、統合事業費に600千円を計上していません。</p>
平成31年度	2,336千円	
平成30年度	2,936千円	
差 引	△600千円	
所 管 課	地域振興課	

事業名		事業内容
5. 初黄・日ノ出町地域再生まちづくり事業		<p>中区は、地域の環境浄化を進めるため、自主的な活動を行っている協議会に対して活動補助やまちづくりNPO法人を通じて支援しています。</p> <p>なお、都市整備局は、小規模店舗の借上や企業との調整、文化観光局は現代アートを通じた賑わいづくり、市民局は地域防犯拠点の運用支援を行っており、中区は関係局と連携しながら取組を進めています。</p> <p>まちの活性化には、更なる活動の参加者・担い手を増やしていくことが重要です。地区内外の方々が参加しやすいよう、地域に係わる団体だけでなく、アーティスト・学生等とも連携し、子どもや高齢者関連の取組、大岡川の活用など、各テーマに沿ったまちづくり活動が活発化しています。このような活動に係る協議会等への支援も通じ、魅力あるまちの形成を目指します。</p> <p>(1) 初黄・日ノ出町環境浄化推進協議会活動に対する補助 (500千円)</p> <p>ア 各部会による活動の実施 (防犯パトロール毎月ほか)</p> <p>イ 地域防犯拠点の運用</p> <p>ウ 協議会定例会等の開催 (毎月)</p> <p>※「参加しやすい定例会」の取組として、30年度に実施した協議会の休日・夜間開催出席状況を踏まえ、より参加者の多かった平日夜間開催に絞り、地域意見の集約及び町内会の新たな担い手の発掘に繋がります。</p> <p>(2) 地域活動を支える運営組織の強化 (1,500千円)</p> <p>ア 協議会活動の企画、運営手法の検討支援</p> <p>イ 協議会等の活動に係る関係団体・機関との連絡調整、連携支援</p>
平成31年度	2,000千円	
平成30年度	2,000千円	
差 引	0千円	
所 管 課	区政推進課	

事業名		事業内容
6. 花いっぱい明るいまち事業		<p>本事業では、主にごみの不法投棄や違法駐輪が問題となっている場所に、区民（自治会町内会、ハマロードサポーター、公園愛護会など）と協働で花壇やプランターを設置し、花を植えることで不法投棄等をされにくくするための環境整備等に取り組みます。また、夏場の省エネ対策として、公共施設等に花緑のカーテンを設置し、緑化の普及啓発を行います。</p> <p>さらに、来街者へのおもてなしが求められる中、大規模なイベント等に向けた「おもてなし花壇」を設置して、歓迎とおもてなし気運の向上、市民等へのPRに取り組みます。</p> <p>(1) 花いっぱい環境対策・省エネ対策 (550千円)</p> <p>ア 花苗提供 1,800株</p> <p>イ プランター設置・維持管理 10か所</p> <p>実施予定箇所 本牧埠頭交番前、山下町公園、花咲町、打越橋、柏葉公園、西の橋、山手駅、長者町、黄金町、竹之丸保育園</p> <p>ウ 種まきイベント 4か所</p> <p>エ 花緑のカーテン設置 4か所</p> <p>実施予定箇所 山手保育園、訓盲学院、本牧小学校、中土木事務所</p> <p>(2) 普及啓発 (50千円)</p> <p>ア 園芸講習会 2回 (年)</p> <p>イ 概 要 9月 秋季園芸講習会</p> <p>32年2月 冬季園芸講習会 参加予定者数各25人</p> <p>(3) イベントおもてなし (650千円)</p> <p>ア おもてなし花壇設置</p> <p>イ 対象イベント ラグビーワールドカップ2019™ 等</p>
平成31年度	1,250千円	
平成30年度	1,250千円	
差 引	0千円	
所 管 課	中土木事務所	

事業名		事業内容
7. 食の安全・安心事業		<p>食品取扱施設に対する効率的かつ効果的な監視指導の実施と、従事者や消費者に対する衛生教育・情報発信の充実により、食中毒の発生件数を抑えるとともに、発生した食中毒の拡大・再発を防止します。</p> <p>(1) 食品取扱施設の衛生確保事業 (860千円)</p> <p>ア 食品取扱施設の衛生対策</p> <p>(ア) 効果的・効率的な監視指導 中華街や区内のホテル、宴会場、社会福祉施設等に対し、迅速検査を併用した監視指導や、多言語チラシを活用した啓発等を実施します。</p> <p>(イ) イベントでの食品提供に対する衛生指導 赤レンガ倉庫や大さん橋等で開催される大規模な食品提供イベントの主催者や出店者に対し、食品の衛生的な取扱いに係る事前指導及び当日監視等を行います。</p> <p>イ 社会福祉施設等への食中毒等予防支援 区内の保育園や高齢者施設等に対し、立入点検や助言を行うとともに、講習会等を通じて食中毒予防を支援します。</p> <p>(2) 食の安全に関する情報発信事業 (510千円)</p> <p>ア 食品衛生講習会等 消費者や食品取扱者に対して、食の安全に関する食品衛生講習会を開催します。また、自治会や町内会向けに広報等により食中毒予防の注意喚起を行います。</p> <p>イ パネル展 区役所本館、別館庁舎内等において食中毒予防のパネル展を実施します。</p> <p>ウ 食中毒予防キャンペーン 消費者を対象とした食中毒予防のイベントを、イセザキモールや飛鳥Ⅱ、ハローよこはまで開催します。</p>
平成31年度	1,370千円	
平成30年度	1,420千円	
差 引	△50千円	
所 管 課	生活衛生課	

事業名		事業内容
8. 動物適正飼育推進事業		<p>ペットの排泄物の不適切な処理や放し飼いなどへの苦情が多数寄せられていることから、適正飼育を啓発し、事故やトラブルを防止します。</p> <p>災害時のペット対策については、地域防災拠点の関係者を中心に災害時ペット対策の必要性を啓発し、特に飼い主に対しては日頃の準備を中心に啓発を実施します。</p> <p>また、地域防災拠点における同行避難を前提とした災害時のペット対策の検討やルール作りを支援します。</p> <p>(1) 動物適正飼育推進事業 (348千円)</p> <p>ア 狂犬病予防注射出張会場において、獣医師会と連携して、犬の飼主に啓発を実施します。(4月)</p> <p>イ ハローよこはまなどのイベントに参加し、獣医師会や動物適正飼育推進員等と連携して、来場者に啓発を実施します。</p> <p>ウ 放し飼い等の苦情が多く寄せられている大規模公園等において、施設の管理者や動物適正飼育推進員と連携して、散歩中の飼主に対して啓発、指導を実施します。</p> <p>(2) 災害時ペット対策推進事業 (468千円)</p> <p>ア ペットの飼主や防災拠点関係者等を対象に講習会を開催し、災害時ペット対策の普及を図ります。</p> <p>イ 各地域防災拠点の拠点訓練時に、災害時ペット対策に関する啓発を提案し、同行避難に関する展示やペット同行避難訓練の実施等を支援します。</p> <p>ウ ペット同行避難の検討活動のモデル拠点として取り組んだ大鳥小学校地域防災拠点や他の拠点での検討成果である同行避難のルールやペット受入態勢に必要な資材を、これから検討に取り組もうとする他の拠点の参考として活用できるように拡げていきます。</p>
平成31年度	816千円	
平成30年度	843千円	
差 引	△27千円	
所 管 課	生活衛生課	

4 地域に寄り添い、ともに行動する区役所づくり

事業名		事業内容
1. 人材育成推進事業		<p>市民の視点に立った行政サービスの提供を行うため、職員の区民サービスへの意識向上を図ります。</p> <p>(1) CS・ES向上事業 (510千円) 各課長をリーダーに、係長、職員がサブリーダーとなり職場内でCS向上の取組を推進するとともに、職員参加型プロジェクトの実施や人材育成研修を実施し、職員満足度の向上を目指します。</p> <p>(2) 人権啓発事業 (630千円) 人権が尊重される社会を目指し、区民や区内企業を対象にした人権啓発講演会を開催します。また、職員の人権意識の向上を図るため、職員研修を継続して実施します。 ア 中区人権啓発講演会の開催 イ 人権啓発研修の実施</p>
平成31年度	1,140千円	
平成30年度	1,207千円	
差 引	△67千円	
所 管 課	総務課	

事業名		事業内容
2. 利用しやすい区役所づくり事業		<p>区庁舎本館は竣工から30年以上経過し、現在の公共施設へのニーズに対応しきれていない部分があることから必要な改修等を行い、利用者環境の改善を図ります。あわせて、安心して利用できるようスタッフを配置します。 また、地域の賑わいづくりや来街者の回遊性向上に寄与できる魅力的な区庁舎づくりに取り組みます。</p> <p>(1) 利用者環境等の改善 (7,664千円) 窓口案内・警備業務委託を引き続き実施するとともに、レイアウトや設備面等を改善し、より利用しやすい庁舎を目指します。 ア 窓口案内・警備業務委託 (通年) ※総合窓口案内業務の一部を「広報・案内事業」に移行 イ 庁舎改善委託等</p> <p>(2) シビックプライドの持てる区庁舎づくり (4,730千円) 地域の賑わいづくりや来街者の回遊性向上に寄与し、街のランドマークとして区民が親しみや誇りを持てる魅力的な区庁舎づくりのための改修を実施します。 ア 本館エントランス・外構等改修 イ 本館エントランス用備品等設置</p> <p><参考> (市民局区配付予算) ・公益用地活用メリットシステムに伴う予算配分 (64,113千円) を活用し、区庁舎本館のエントランス・外構等の改修を実施します。 実施にあたっては、自主企画事業費をあわせて活用します。 (8月頃から改修工事实施予定)</p>
平成31年度	12,394千円	
平成30年度	19,017千円	
差 引	△6,623千円	
所 管 課	総務課	

事業名		事業内容
3. 広報・案内事業		<p>様々な手法で中区の魅力を発信することによって、区民のシビックプライドを高めるとともに、市民からの意見を区政の改善につなげていきます。また、区役所を訪れた方をよりスムーズに案内できるよう、従来警備業務と合わせて行われていた総合案内窓口業務に、専任の職員を配置（委託）します。</p> <p>(1) 広報・広聴事業 (1,091千円)</p> <p>ア 区ホームページでの市政情報及びツイッターによるイベント情報等の発信</p> <p>イ 区内イベントへのマスコットキャラクター「スウィングー」の参加等によるプロモーション活動</p> <p>ウ 庁内職員のための広報研修実施</p> <p>エ 「市民からの提案」等の広聴や要望への対応</p> <p>(2) 広報相談係運営事業 (5,043千円)</p> <p>ア 1階総合案内窓口業務の委託</p> <p>イ 区内の駅等にチラシを配架するためのPRボックスの修繕</p>
平成31年度	6,134千円	
平成30年度	9,146千円	
差 引	△3,012千円	
所 管 課	区政推進課	※広報よこはま発行関連費用（7,501千円）及び特別相談事業経費（900千円）について、31年度は別途、統合事業費に計上しています。